

1 国語に関する調査

【特長】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる設問では、文や文章の意味を正しく読み取り、漢字と仮名を適切に使い分けることができていた。
- 目的に応じて必要な情報を見つけたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる設問では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができていた。

【課題】

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解しながら、自分の考えを深めたり、相手にとってわかりやすく伝えたりして、工夫して書き表すことに課題が見られた。
- 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる設問では、相手と自分との関係を意識しながら、相手や場面に応じて尊敬語と謙譲語を使い分けることに課題が見られた。

2 算数に関する調査

【特長】

- 日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる設問では、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができていた。
- 一の位が0の2つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる設問では、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解し、その筆算の仕方について理解していた。

【課題】

- 基本的な図形の概念や直線の位置関係について理解し、図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる設問では、直線の平行や垂直の関係を理解して面積の大小を判断し、その判断の理由を文章で説明することに課題が見られた。
- 加法と乗法の混合した整数の計算において、計算の順序についてのきまりや分配法則などの計算に関して成り立つ性質を理解して、工夫してより簡単に計算することに課題が見られた。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- いじめはどんな理由があってもいけないことを理解し、人が困っているときは進んで助けたいと考えている児童が多いことから、優しい気持ちをもって友達と接し、良好な人間関係を築いていると考えられる。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と思う児童や、「日本のことについて外国の人にもっと知ってもらいたい」と思う児童が多い。外国につながる児童の多い本校の環境の中で、異なる文化や価値観を自然に受け入れている姿が伺える。

【課題】

- 毎日の就寝時刻が定まっていない児童もあり、十分な睡眠時間が確保されていない様子が伺える。
- これまでの授業において、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んできたと回答する児童の割合が低い。自分の意見や考えを友達と伝え合ったり、自分の考えを見直したりする活動を通して、自発的に学習に取り組むことができるようにしたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業の始めにめあての確認、終わりに振り返りを行うことで学習の定着を図る。また、ICT 機器を効果的に取り入れ、児童の興味・関心を高める授業の展開を目指す。
- 自分で思ったことや考えたこと、疑問に思ったことを言葉や文章で表現できるよう、一人でじっくりと取り組む時間を確保する。また、そのための書く力や話す力を伸ばすために、学校や学区内の図書館の利用の推進も含めた読書活動を積極的に行っていく。
- 子どもたちが「問い」をもてるようになることを重視し、その「問題」を解決する力を育むために、発問の仕方や「対話」を取り入れた授業の展開など、授業づくりを工夫していく。
- 一人一人が自己肯定感をもち、自信をもって学習に取り組めるよう、小さなことでも努力する姿、成し遂げられた姿を教師が認めて励ましていくことを継続していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 早寝早起き、朝食をしっかりとるなどの健康的で規則正しい生活が、充実した学習や学校生活につながります。ゲーム機や携帯電話・スマートフォン等の操作時間などのルールを見直すとともに、基本的な生活習慣が確立できるようご協力をお願いします。
- ご家庭でも読書活動ができるよう、お子さんの音読を聞いたり、地域の図書館に行ってみたりするなど、本にふれる機会が増えるようご協力をお願いします。
- 子どもたちの地域での学びの場を増やすために、地域の行事や公民館や図書館での催し物に積極的に参加できるようご協力をお願いします。